

支所だより

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

身近なところの変化

～サルノコシカケを見つけて～

周越農道から東に入った新市会館の近くに桜の木があります。その桜の木の根元にサルノコシカケが寄生しているのを、昨年近所の人が発見しました。



▲桜に寄生したサルノコシカケ

サルノコシカケはその名が示す通り、猿が腰を掛ける椅子のような形をしています。キノコ的一种に分類され、多くのキノコは季節性で発生するのに対して、サルノコシカケは多年生で年々成長していきます。

新市会館近くで見つかったサルノコシカケは、1年前にはカサが二つ付いていましたが、今年は三つ目のカサが増えており、年々成長していることが見て取れます。

身の回りには、成長して少しずつ変化しているものがたくさんあります。忙しい毎日で気付かず、見過ごしてしまっていることにも、立ち止まってよく見てみれば新たな発見があるかもしれません。



▲昨年はカサが二つ



▲今年はカサが三つ

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

安全登山を支えてボランティア活動

～赤滝登行会～

丹原町保井野には堂ヶ森や二ノ森を經由し石鎚へ縦走する登山口があり、そこには広い駐車場やバイオトイレが完備されています。これらの施設や登山道の整備をボランティアで長年続けているのが「赤滝登行会」



▲堂ヶ森から石鎚への登山道

で、十亀隆良会長他12人の会員が活動しています。

「赤滝登行会は、山の愛好家により昭和47年に発足した同好会。発足当初は石鎚山系などの登山を楽しんでいたが、山へ行くたびに登山道が崩れていたり、

草木が生い茂り歩くことも困難な場所があったりしたため、山を愛する自分たちでできることをやろうと登山道のゴミ拾いや草刈を始めた」と十亀会長。

今では年間を通じて定期的にトイレの清掃や管理、堂ヶ森や夫婦滝などの登山道の補修、草刈、ゴミ拾いを続けて、みんなが安心して楽しめる安全登山を支えています。他にも国道11号沿線のゴミ拾いなど環境美化にも努めたことから、市民の模範となる功績がたたえられ、昨年11月に市民表彰を受賞されました。

皆さんも一緒にボランティア活動をしてみませんか。

■連絡先 十亀隆良会長

TEL0898-68-7429



▲夫婦滝登山道の修理

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

小松藩の文化財を訪ねて

～小松三代藩主一柳直卿（なおあきら）公～

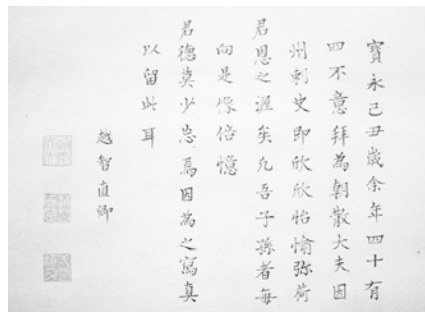
小松藩一柳氏一万石の城下町、小松町。歴代藩主の中でも三代藩主直卿公は、当時の大名随一の名筆家と呼ばれた書の達人です。

書とは別に、平成19年3月に西条市有形文化財に指定されたのが「一柳直卿公寿像」掛軸で、小松温芳図書館に保管されています。この掛軸は、合併記念に東京在住の旧小松藩主一柳家から寄託され、小松藩主肖像画としては唯一のもので、直卿公の堂々と風格ある風貌が見事に描かれています。肖像画が描かれたのは宝永6年（1709年）直卿公が44歳の時、従五位下・因幡守に叙任した喜びを記念して肖像画を描かせたと、直筆の賛（絵に書き添える文）を入れています。

美術工芸品としても優れた価値があり、小松藩の象徴的な意味をもつ文化財ではないでしょうか。

■問合せ 小松温芳図書館

TEL0898-72-5634



▲一柳直卿公の自賛七行



▲一柳直卿公寿像